

がいようばん
概要版

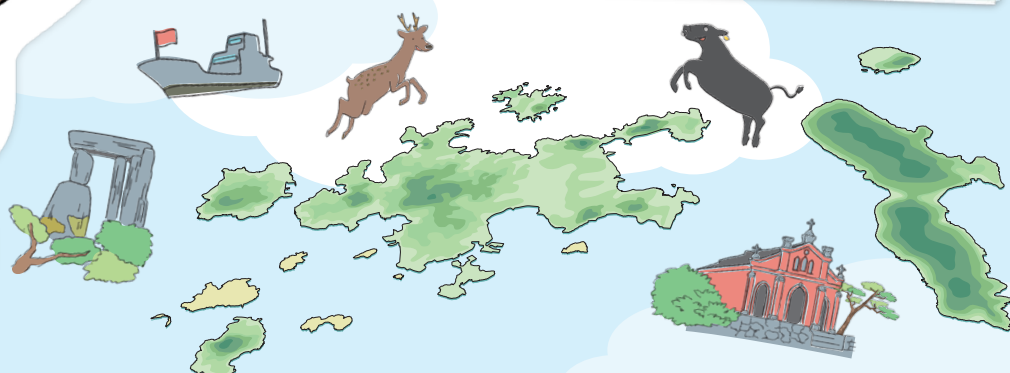
第5次 小値賀町 総合計画

基本構想

2024(R6)～2033(R15)年度

前期基本計画

2024(R6)～2028(R10)年度





第5次小値賀町総合計画～概要版～

基本構想	2024(R6)～2033(R15)年度
前期基本計画	2024(R6)～2028(R10)年度

令和6年3月発行 **長崎県小値賀町**

〒857-4701
長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷 2376 番地 1

TEL : 0959-56-3111

Web : <http://www.ojika.net/>

その1 計画の概要



Q 総合計画ってなんだろう？



A

総合計画は、住む人が満足感を得ながら住み続けることができるまちにしていけるための計画です。まちが目指す将来の姿をはっきりさせて、それを町民と行政が実現していくための様々な取り組みを体系的にまとめています。

計画の期間は、2024（R6）年度から2033（R15）年度までの10年間です。



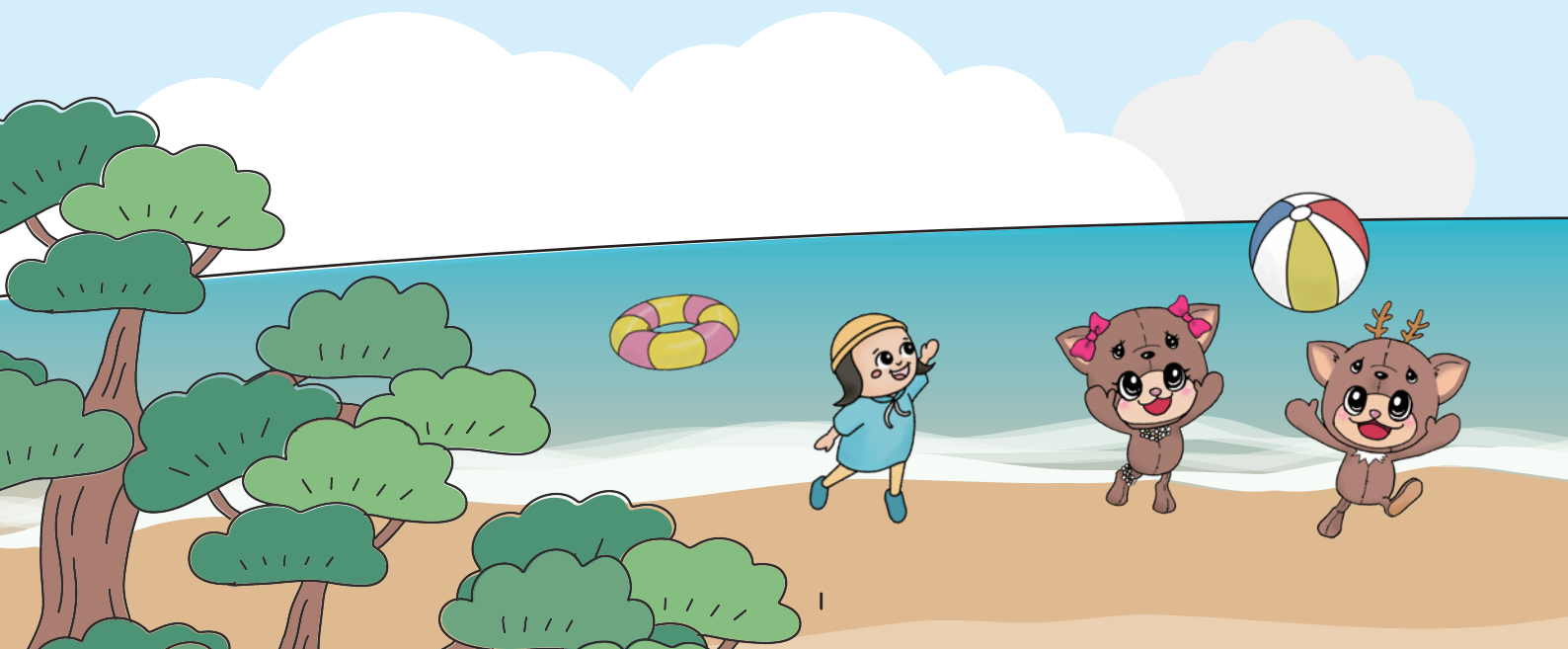
Q 総合計画は、だれがつくって、だれが実行するの？



A

総合計画は、全ての町民と行政が協働して実現していくものです。全ての町民の想いや願いを反映した計画になるよう、未来会議、町民アンケートや、専門的な知識を持つ人々などと町の未来を考え、語り合いながらつくりました。

全ての町民と行政が協働して実現していくものです。





Q 総合計画は、 どのように役に立つの？

A

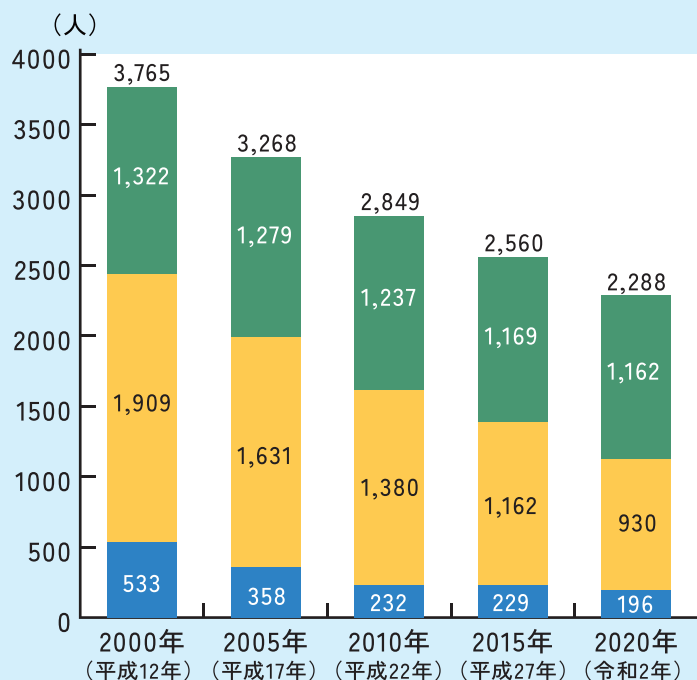


総合計画では、町の将来像の実現のために、私たち町民一人ひとりができること、地域でできること、役場でできることなど、それぞれが役割を持ち、みんなで力を合わせて一緒にまちづくりに取り組んでいけるようにしています。具体的な実現に向け一緒に考え対話しながら取り組んでいきましょう。



小値賀町の人口の移り変わり

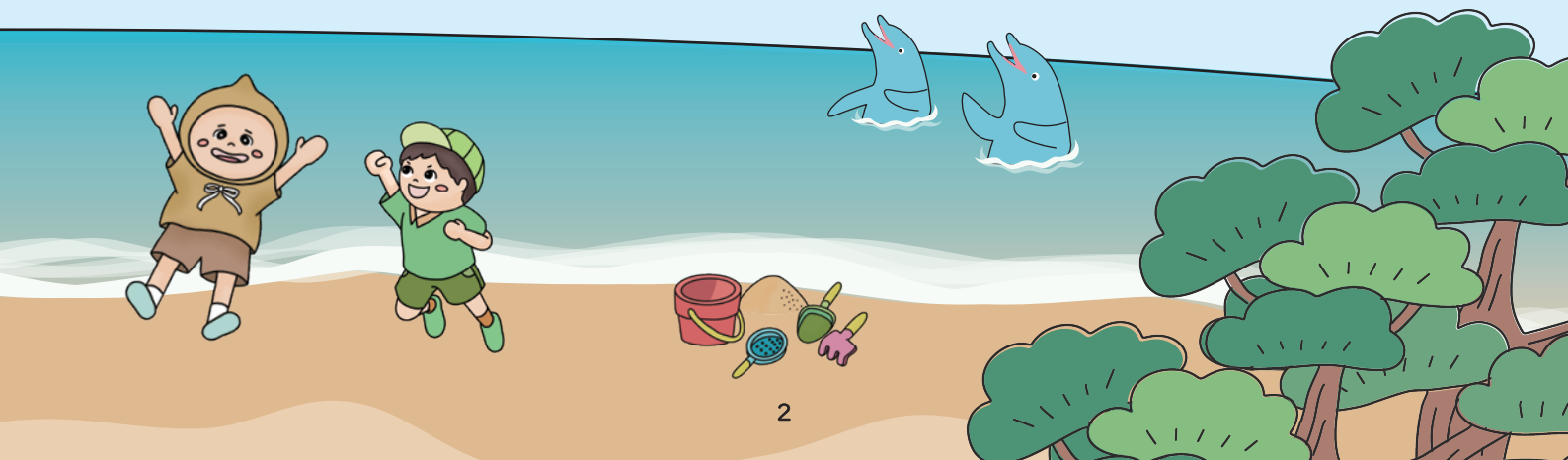
町の人口は、昭和20年代のピーク時に1万人を超えていましたが、その後減少に歯止めがかかっていません。この10年で老年人口より生産年齢人口が少なくなり、今後更に超少子高齢化が進むと想定されています。



10年前との比較 (2010年と2020年)

人口		561人の減少 (14.9%)
	老年人口 (65歳以上)	75人の減少 (6.1%)
	生産年齢人口 (15歳～65歳未満)	450人の減少 (32.6%)
	年少人口 (15歳未満)	36人の減少 (15.5%)

出典：国勢調査
(総数は、年齢不詳の数を含むため、内訳と合計は一致しない)

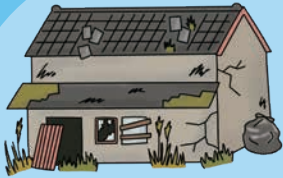


その2 小値賀町の未来の姿

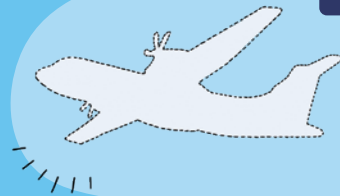
このまま人口減少・超少子高齢化が進むと、小値賀町の未来はどうなるのでしょうか。

未来への 分かれ道

施設の老朽化・空き家の増加



交通利便性の低下



不十分な
教育・医療・福祉体制



仕事や家事・育児で
心に余裕がない生活



産業の担い手不足・高齢化



持続可能性の
減少



未来をつくるのは町民、地域、行政の全体です。これまでの取り組みの延長線ではなく、みんなで手を取り合い対話を重ねながら横断的に課題に取り組み、小値賀町のより良い未来を創っていきましょう。



小値賀町の将来像

●「一人ひとりが輝き 小さな幸せに満ちたまち 小値賀町」

将来像は、おちか未来会議で出された目指すまち(島)の姿などから設定しました。

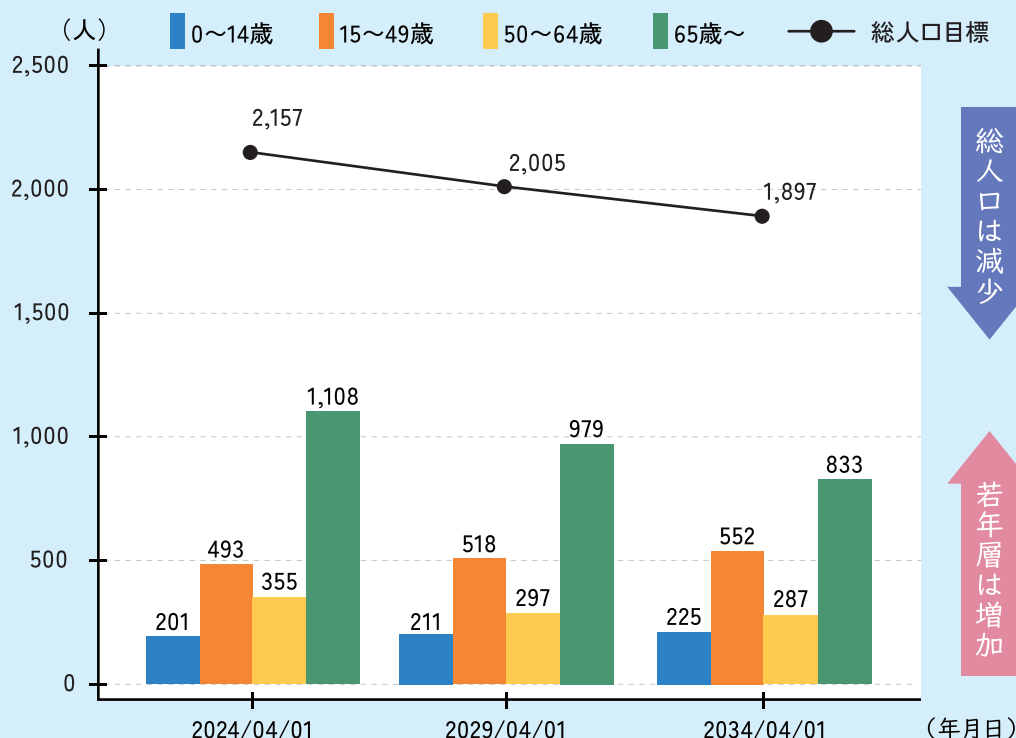
「住む人は少ないけど、一人ひとりがまちに愛着を持ち、やりがいや生きがいなどで輝くまち」と、「島の不便さはあるけど、豊かな自然に囲まれ顔見知りが多く、あいさつやお裾分けをしあうなど、小さな幸せがたくさんあるまち」を目指します。これらの小値賀の人とまちの姿が町内外の人々を惹きつけ、定住・移住等へとつながる、持続可能な好循環を生み出していきます。

人口目標

● こども人口(中学生以下の人口)について、各学年15人を確保する

こどもは、あらゆる面でまちの活力の源であり、次世代の小値賀町を担う大事な宝です。また北松西高校の存続問題にも直接影響し、教育水準の低下は人口減少加速化の要因となるため、こども人口を基準に人口目標を設定しました。この人口目標における推計目標値では、10年後の総人口は2,000人を切り、1,897人となる一方、こども・親世代人口は増加します。

総人口と年齢区分別の人口推計



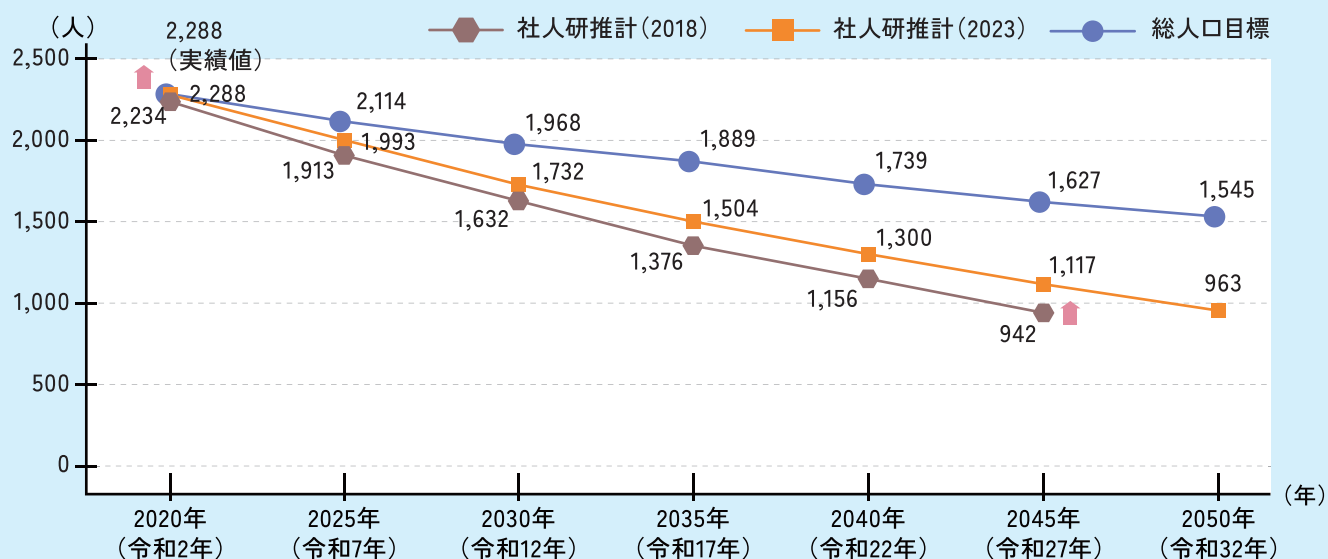
自分らしく
過ごせていいな

ひとが
輝く社会に

優しいひとが
多いまちだな

将来人口推計

人口目標をこども人口学年15人とすることで、2050年に1,550人程度の人口水準を目指すとしています。



※各5年ごとのデータについては、10月1日の推計値または目標値です。

出展：国立社会保障・人口問題研究所の人口推計



その3 施策体系

戦略の柱	基本戦略
ひと 互いに支えあいながら 小値賀を担う人材を育み、 確保し続けることが できるひとづくり	1 「こどもを育てるなら小値賀」の環境を整え、 こどもが健やかに学び育ち、 安心して子育てができる基盤を創る 2 こどもから大人まで、様々なつながりの中で 互いの成長を支えあえる地域社会を実現する 3 住むため、住み続けるために必要な人材を確保する
くらし いつまでも安心して 生活できる持続可能な くらしづくり	4 誰もが安心安全に生活できる基盤を充実する 5 便利で快適に生活できる基盤を維持する 6 環境が保全され自然と共生する社会を実現する
しごと 地域の稼ぐ力の強化、 町民所得の向上及び やりがいのある しごとづくり	7 産業の新しい時代への対応力を強化することで 生産性の向上を図る 8 安定した付加価値の高い産品・事業により 生産高・所得の向上を図る 9 交流人口の拡大による島外からの活力を取り込む 10 地域の特色を活かした 良質で安定した労働の場を創出する
協働のまちづくり 誰もが活躍できる 協働のまちづくり	11 まちや地域への愛着と誇りを育み、 地域活動へとつなげ、持続可能なまちづくりを推進する 12 全ての町民の人権が尊重される地域社会を実現する
行政力 それぞれの施策を確実に 実行する行政力づくり	13 骨太な行政基盤を構築する 14 職員が能力を発揮しやすい組織体制を整える 15 公共空間の豊かな活用を図る

将来像を実現するための5つの柱と15の基本戦略、39の施策及び「おちから横断プロジェクト」で構成しています。

施策	おちから横断プロジェクト
(1) 安心して子育てができる支援の充実	SDGs
(2) 結婚の希望を実現するための支援の充実	
(3) 基礎学力と社会を生き抜く力、郷土への愛着・誇りを育む小値賀ならではの魅力ある教育の推進	
(4) 安心安全にこどもを育てる教育環境の整備	
(5) 地域総参加でこどもを育て、こどもの成長を支援する体制づくり	
(6) 文化・芸術・スポーツ活動を通じた出会いと生きがいづくり	防災
(7) 安定した生涯学習環境の整備	
(8) 総合窓口体制による人材確保策の展開	
(9) しごとや暮らし、地域など小値賀を支える人材の確保	
(10) 未来を支える人材の魅力化と育成	
(11) 防災力強化の取り組みの推進	シティ プロモーション
(12) 交通安全、防犯等の推進	
(13) 地域医療の充実	
(14) 健康・保健対策の推進	
(15) 地域福祉の充実	
(16) 住宅整備の推進	少子化対策
(17) 社会基盤の適正な維持管理	
(18) 町内交通の維持と利用率の向上	
(19) 町外交通基盤の充実	
(20) 地域DXの推進	
(21) ごみの減量化	DX
(22) 自然との共生	
(23) 街並み景観の保全	
(24) デジタル技術を活用した生産性の向上	
(25) 持続可能な産業体制の整備	
(26) 小値賀の特性を生かした商品開発とブランド化	
(27) 観光の振興等による交流人口の拡大	
(28) 先端技術等を活用した労働環境の改善支援	
(29) 担い手、後継者を確保するための基盤整備	
(30) 漁港の維持管理	
(31) 安定した地区やまちづくり活動の運営基盤の整備に係る支援の充実	
(32) 愛着や誇りを増幅していく好循環の形成	
(33) 男女共同参画社会の実現	
(34) 人権に対する意識向上の推進	
(35) 行財政改革の推進	
(36) 職員の確保と育成	
(37) 業務環境の変革	
(38) 職場環境の変革	
(39) 公共施設の適正管理	

その4 おちから横断プロジェクト

計画の実現にあたっては、安心安全に対する脅威の拡大、デジタル化の急速な進展など、広範囲に影響を及ぼす社会の流れに配慮しなければなりません。

これらの課題に対しては、行政だけでなく、小値賀町全体で取り組んでいく必要があるため「おちか」の「ちから」から「おちからプロジェクト」と名付け、戦略の5つの「柱」と、以下に記載する5つのプロジェクトを連動させながら、町民と行政が協働して、複雑化する課題解決に取り組んでいきます。

社会の流れと課題

● SDGs

すべての国における、経済・社会・環境の3つの側面のバランスがとれた社会を目指す共通の目標として、17のゴールと、169のターゲット(達成基準)から構成されており、環境問題や経済成長、ジェンダーまで広範囲の課題を網羅し、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成することが目標とされています。

この理念は、第5次総合計画の施策の方向性とも重なり、本計画の着実な実行がSDGsの目標達成に貢献するものと考えておりますので、町民とともに総合計画の取り組みを推進していきます。

● 防災

日本各地で災害が発生し、感染症の流行により人々の生活も変化しています。また、人口減少・少子高齢化の影響により、地域の防災力の低下も懸念されています。

こうした状況の中、町民の安心安全な生活を守るため、「自助・公助・共助」の役割と重要性の再認識、自主防災組織の組織化、町民等の防災意識の向上、避難施設の適正な配置・運営などを図り、どのような自然災害などにも立ち向かえる、強靱な小値賀町の構築を、小値賀町全体で進めていきます。

● シティプロモーション

小値賀に愛着・誇りを持つ町民を増やし、その感動を町内外に発信することで、ファンを増やし、さらに愛着度が高まるような好循環を生み出します。

町民との協働による多種多様な情報発信を行うことにより“おちかの魅力”を拡散し、交流人口から関係人口、関係人口から定住人口へと結びつけるサイクルを確立させていきます。



● 少子化対策

“超”少子高齢化社会といえる本町の現状を抜本的に打開していくため、町の存続がかかっているという危機意識を共有し、協働の取り組みにつなげていくことが大切です。

出生率や若者・親世代の人口定着率というキーワードから課題・問題点を構造的に整理し、横断的な推進体制を整備のうえ、課題解決に向けた施策・事業を進めていきます。

● DX（デジタル・トランスフォーメーション）

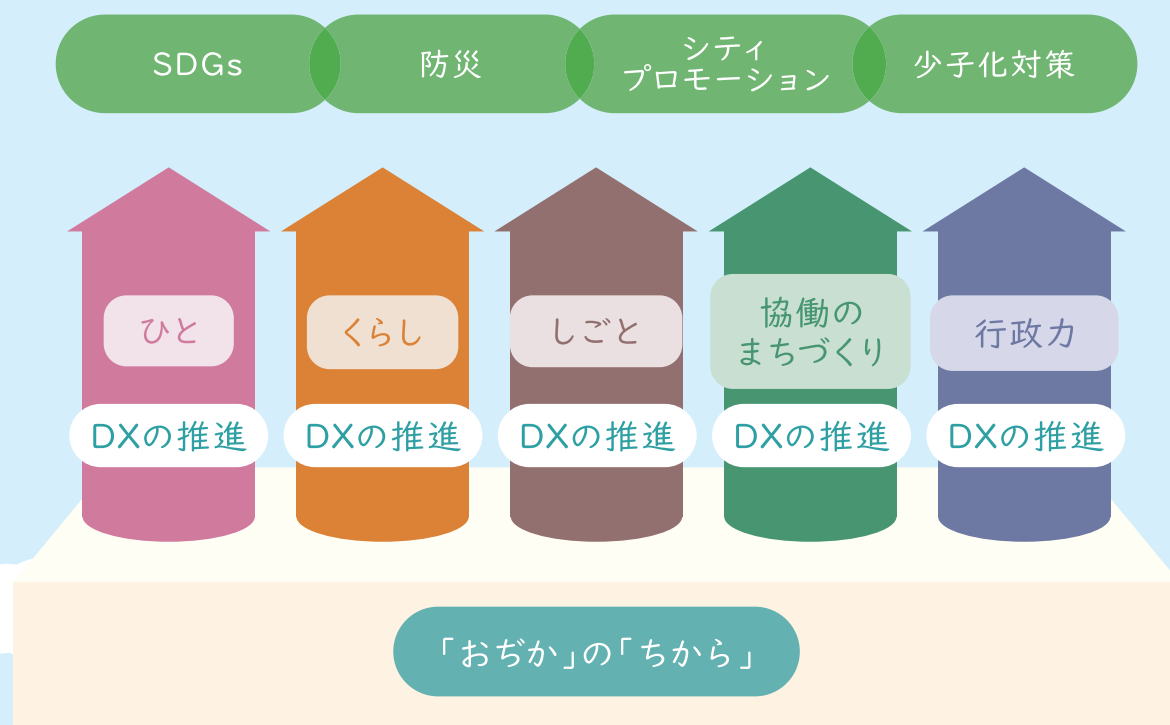
デジタル化の進展に伴い、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済の発展、社会的課題の解決を両立していく社会の実現が目指されています。

小値賀町においても、地域間における情報格差、高齢化・担い手不足による産業の停滞など、さまざまな問題がある中、デジタル技術の活用により、町民の生活をより良いものにしていくための取り組みを進めていきます。

目指す姿

- ・全町民がデジタルの恩恵を受けることができる社会の実現
- ・スマート行政の実現による業務効率化と質の高い町民サービスの提供
- ・民間分野のデジタル化による生産性・利便性の向上

課題解決に向けた町内独自の取り組み 「おちから横断プロジェクト」



「おちか」の「ちから」を合わせて、取り組んでいきましょう!

基本戦略 1

「こどもを育てるなら小値賀」の環境を整え、
こどもが健やかに学び育ち、安心して子育てができる基盤を創る

めざすまちの姿

結婚・妊娠・出産の希望が持て、安全安心で魅力的な教育環境の中で、
こどもが健やかに育ち、学び、安心して子育てができている

わたしたちが
できること

- ・地域の親からこどもを預かるなど子育てのサポートをする
- ・若者の交流の場づくりを地域でサポートする

施策1

安心して子育てができる支援の充実

主な取組

小値賀こども園の満足度向上/ファミリー・サポートセンター事業/こども家庭センター運営事業/
発達促進のための支援充実/安心して出産・子育てを行うための経済的支援の充実/
子育て世帯の交流促進/児童公園や雨天時の遊び場の整備

施策2

結婚の希望を実現するための支援の充実

主な取組

出会いの創出/結婚祝い金の支援の継続

施策3

基礎学力と社会を生き抜く力、郷土への愛着・誇りを育む小値賀ならではの教育の促進

主な取組

小中高一貫教育を通じた学力向上・一人ひとりに対応したきめ細かな教育の推進/
アントレプレナーシップ教育の推進/北松西高校魅力化/ふるさと留学の推進

施策4

安心安全にこどもを育てる教育環境の整備

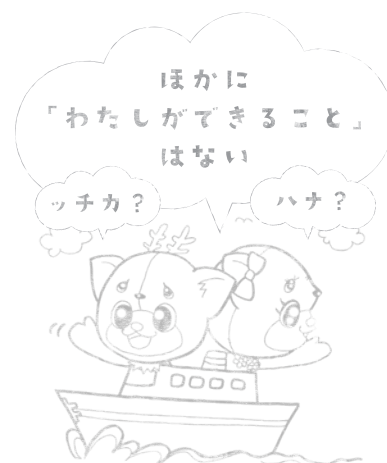
主な取組

老朽施設の計画的整備/小学校体育館空調整備の検討/支援を要するこどもの支援体制の構築

成果指標(令和10年度目標値)

- ・出産乳児一般検診の受診に係る船賃補助制度の創設
- ・小値賀こども園の利用者満足度(100%)
- ・結婚数(3ヶ年平均4組)
- ・北松西高校入学者数(14名)
- ・小中高児童生徒数(168名)
- ・学校管理下における重大事故件数(0件)

メモ



基本戦略 2

こどもから大人まで、様々なつながりの中で
互いの成長を支えあえる地域社会を実現する

めざすまちの姿

こどもの成長を支え、こどもからお年寄りまで
様々な場所や形で交流が広がっている地域社会となっている

わたしたちが
できること

- ・ 家庭の教育力を高め、コミュニティ・スクールの取り組みに参加する
- ・ 文化・芸術・スポーツをはじめ生涯学習に取り組む

施策5 地域総参加でこどもを育て、こどもの成長を支援する体制づくり

主な取組 コミュニティ・スクール/部活動地域移行/放課後子ども教室/家庭教育強化の取り組み/
地域活動団体の支援

施策6 文化・芸術・スポーツ活動を通じた出会いの場と生きがいづくり

主な取組 人生を豊かにするための活動支援/町民レクリエーション大会の持続可能性検討/
生涯を通じた学びの機会の提供

施策7 安定した生涯学習環境の整備

主な取組 社会教育・社会体育施設等の在り方の検討と対策の推進

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 地域学校協働本部の設置・部活動の地域移行率(100%)
- ・ 年間講座実施回数(24回)
- ・ 個別施設計画に則った改修達成率(100%)

基本戦略 3

住むため、住み続けるために必要な人材を確保する

めざすまちの姿

新しい人の流れができ、地元定着率や移住者・関係人口が増加し、
地域や産業の担い手となって町民生活を下支えている

わたしたちが
できること

- ・ まちづくりに貢献できる新しい知識やスキルを学び、
まちづくりのリーダーとなれるよう取り組む

施策8 総合窓口体制による人材確保策の展開

主な取組 島暮らしサポートセンターの設置運営/情報発信の強化/短期滞在施設の充実及び事業支援/
移住支援金の支給

施策9 しごとや暮らし、地域など小値賀を支える人材の確保

主な取組 小値賀町の自立に必要な持続的な産業体制の構築/外部人材活用制度の積極的活用/
町内就職の促進と支援/人材確保に係る支援制度の拡充

施策10 未来を支える人材の魅力化と育成

主な取組 関係人口を活用した定住支援/まちづくりリーダーの育成/若者活動拠点の整備または整備支援

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 総合窓口の設置年度(令和7年度)
- ・ 社会増減数(5人)
- ・ 自立に必要な人材確保率(100%)
- ・ 地域おこし協力隊隊員数(9名)
- ・ 定住支援体制を通じた年間移住相談組数(60組/年)
- ・ 事業を通じて生まれた仕事や活動の数(5件)

基本戦略 4 誰もが安心安全に生活できる基盤を充実する

めざすまちの姿

医療・保健・福祉・住まい等の生活基盤が整い、災害や犯罪被害がなく、
安心・安全な生活を送ることができている

わたしたちが
できること

- ・防災備蓄を進め、家具を固定する
- ・避難時は周りに声をかけスムーズに避難する
- ・交通安全に配慮する
- ・自動車やバイクの運転に不安を感じた時は免許を返納する
- ・防犯意識を高める
- ・介護、認知症予防の活動に参加する
- ・地域と連携し支援する
- ・空き家バンク制度を活用する
- ・相続登記の手続きを行う

施策11 防災力強化の取り組みの推進

主な取組 避難施設の整備/自主防災組織の活動支援/総合防災訓練の実施/消防団員確保の推進/
消防施設の整備

施策12 交通安全、防犯等の推進

主な取組 交通安全対策/免許返納の促進/防犯意識向上の取り組み/消費者行政窓口体制の充実

施策13 地域医療の充実

主な取組 診療所の体制整備・充実/専門医外来の継続/医療DXの推進/救急搬送体制の確保

施策14 健康・保健対策の推進

主な取組 国保加入者に対する特定健診の推進/歯科保健・口腔ケアの推進

施策15 地域福祉の充実

主な取組 包括的支援事業/通いの場や運動教室等による介護予防の推進/認知症の予防と共生の推進/
安心して暮らすことができる環境の推進/地域ケア会議の実施/生活困窮者への支援

施策16 住宅整備の推進

主な取組 住まい性能向上の支援/民間賃貸住宅建設に対する支援/移住定住者向け住環境の整備/
空き家バンク制度の拡充/町営住宅等の適正管理/相続登記の推進

施策17 社会基盤の適正な維持管理

主な取組 暮らしやすい住環境整備の推進/道路拡張工事/簡易水道施設改修事業/
下水道の広域化・共同化事業

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・風水害・地震などによる死者数(0名)
- ・自主防災組織の防災訓練参加率(100%)
- ・所属分団消防車両の運転可能な分団員の割合(100%)
- ・交通事故による年間死者数(0名)
- ・犯罪被害年間件数(0件)
- ・専門科外来の科目と回数(100%維持)
- ・オンライン診療体制の整備・緊急搬送時の搬送率(100%)
- ・有収率の向上
(給水量に対する料金収入として計上される有収水量の割合)(90%)
- ・特定健診受診率(50.0%)
- ・成人歯科検診受診率(7.0%)
- ・おちか見守りネット認知度(25%)
- ・要介護・要支援認定率(17%)
- ・通いの場の実施箇所(12箇所)
- ・住環境に不満がある方の割合の低減(15.0%)
- ・道路環境に起因する交通事故発生件数(0件)

くらしに関するすべての指標の目標達成率	現状値：－	目標値※2：100%
小値賀町での生活の幸せ度(とても幸せ、まあまあ幸せと答えた方の割合)	現状値※1：80.2%	目標値※2：90%

※1：令和4年度 ※2：令和10年度

基本戦略 5 便利で快適に生活できる基盤を維持する

めざすまちの姿

島ながらも、交通に不便なく生活することができ、
都会並みの情報通信インフラが整っている

わたしたちが できること

- ・ 町内公共交通機関の利用
- ・ デジタル社会への挑戦

施策18 町内交通の維持と利用率の向上

主な取組 小値賀交通株式会社の運行支援/町営船さいかいのリプレイス/バスのデマンド方式移行

施策19 町外交通基盤の充実

主な取組 陳情、要望活動/航空路運航調査の実施/小値賀空港の利活用

施策20 地域 DXの推進

主な取組 マイクロ無線による超高速ブロードバンド環境の整備/
ICT活用に関する町民向け講座の開催/DX推進計画の作成

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 人口1人当たり年間町内公共交通利用回数(※町内公共交通：バス、デマンドバス、町渡船)(15.0回)
- ・ 空港利活用における民間企業とのマッチング件数(1件/年)
- ・ 2次離島で希望する地域の固定通信系超高速ブロードバンド整備率(100%)
- ・ 仕事や暮らしにインターネットを使っている人の割合(100%)・DX推進計画の作成(令和6年度策定)

基本戦略 6 環境が保全され自然と共生する社会を実現する

めざすまちの姿

持続可能なごみ処理体制が整い、保全された小値賀らしい景観と共に、
自然を満喫した生活を送っている

わたしたちが できること

- ・ 生ごみ処理機を利用する
- ・ ごみの分別と減量化に取り組む
- ・ 海岸清掃に参加する

施策21 ごみの減量化

主な取組 循環型社会の実現への推進/ごみ処理広域化の推進

施策22 自然との共生

主な取組 低公害車の普及に向けた取り組みの研究/公園施設の整備等/松林の保全活動/
海岸漂着物に対する取り組み

施策23 街並み景観の保全

主な取組 空家等対策計画の策定/景観に関する啓発

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ ごみの年間排出量(全体)(807トン)
- ・ 1人1日あたりのごみの排出量(1,086g/日)
- ・ 松くい虫被害木の抑制(50㎡未満/年)
- ・ 海岸漂着物回収量の維持及び事業の継続(70トン/年)
- ・ 管理不全空家件数(13件)

基本戦略 7 産業の新しい時代への対応力を強化することで生産性の向上を図る

めざすまちの姿 新しい時代への対応力が強化され生産性が向上している

わたしたちができること

- ・ 農家地区の草刈り作業に協力する
- ・ 高齢化産業の維持・継続

施策24 デジタル技術を活用した生産性の向上

主な取組 スマート農業の推進/機械化の推進/先進技術等導入基盤の整備/スマート水産業の推進/
先進技術を活用した藻場造成/キャッシュレス・ポイントの配布/先進技術等の情報発信

施策25 持続可能な産業体制の整備

主な取組 農村環境の保全/農業法人化の推進/施設長寿命化対策/自立型出荷体制の構築/
水産業企業誘致/藻場造成の拡大推進/農業漁業用燃油高騰に対する支援/
海上輸送コストに対する支援/宿泊施設や飲食店のワンストップ予約システム導入推進

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 農作物生産量 ※輸送コスト支援事業対象品目(323.6トン)
- ・ 水産物水揚量 ※輸送コスト支援事業対象品目(452.1トン)
- ・ 電子決済導入店舗率(40%)
- ・ 農業法人の設立(2法人)
- ・ 水産業企業の町内進出(2企業)
- ・ 予約システムの導入

基本戦略 8 安定した付加価値の高い産品・事業により生産高・所得の向上を図る

めざすまちの姿 産品のブランド化、新たな販路開拓が進み、離島であることの不利性が是正され、
生産者の所得が向上しているわたしたちができること

- ・ 産品のブランド化への取り組み
- ・ 小値賀の産品を購入する

施策26 小値賀の特性を生かした商品開発とブランド化

主な取組 農業収益力の向上のための取り組み/農産物のブランド化/小値賀牛への取り組み/
ふるさと納税返礼品への取り組み

成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 農産物の商標登録数(1)
- ・ 町内店舗での小値賀牛メニュー販売
- ・ 農業生産額(526百万円)
- ・ 水産業生産額(533百万円)

基本戦略 9 交流人口の拡大による島外からの活力を取り込む

めざすまちの姿 交流人口が拡大し島外からの活力が取り込め、十分な担い手が育っている

わたしたちができること

- ・ 飲食業における小値賀の食材を使ったメニューの提供
- ・ 民泊(農泊)の実施

施策27 観光の振興等による交流人口の拡大

主な取組 観光振興計画の策定/小値賀の食材を活用した料理提供体制の構築/民泊(農泊)の推進/観光関連施設の維持管理/特色を活かした観光メニューの開発/滞在型市民農園事業の検討

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 観光客延べ数(41,000人)

基本戦略 10 地域の特色を活かした良質で安定した労働の場を創出する

めざすまちの姿 地域の特色を活かした良質で安定した雇用の場が創出されている

わたしたちができること

- ・ 出漁時のライフジャケットの着用
- ・ 島外後継者の受け入れ

施策28 先端技術等を活用した労働環境の改善支援

主な取組 海難発生時の即時救難体制の整備/先進技術導入の推進

施策29 担い手、後継者を確保するための基盤整備

主な取組 後継者確保対策/養殖業の生産供給体制強化支援/雇用機会の拡充

施策30 漁港の維持管理

主な取組 水産基盤の整備

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 新規農業研修生数(5名)
- ・ 新規漁業研修生数(5名)
- ・ 水産業生産額(533百万円)

基本戦略 11

まちや地域への愛着と誇りを育み、
地域活動へとつなげ、持続可能なまちづくりを推進する

めざすまちの姿

地域活動を行うあらゆる主体が支えあい連携し、
持続可能な地域共生社会づくりが進んでいる

わたしたちが
できること

- ・小値賀の未来を考え行動する
- ・小値賀愛の発信と共有

施策31

安定した地区やまちづくり活動の運営基盤の整備に係る支援の充実

主な取組

地区ごとのまちづくり活動支援/おちか未来会議の実施/外部人材の活用/
まちづくり活動の体制整備

施策32

愛着や誇りを増幅していく好循環の形成

主な取組

世界文化遺産の保存と活用/どんこんおちか大作戦

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・おちか未来会議の開催回数(30回)
- ・まちに愛着や誇りをもつ町民の割合(80%)

メモ

基本戦略12 全ての町民の人権が尊重される地域社会を実現する

めざすまちの姿

全ての町民の人権が尊重される地域社会となっている

わたしたちができること

- ・ジェンダーや男女共同参画に対する理解を深める
- ・障がいや他者との違いに対する理解を深める

施策33 男女共同参画社会の実現

主な取組 男女共同参画計画の策定/ジェンダーに関する意識啓発及び教育の推進

施策34 人権に対する意識向上の推進

主な取組 人権教育・啓発の強化/ユニバーサルデザインの導入

成果指標(令和10年度目標値)

- ・男女共同参画社会が実現している、またはどちらかといえば実現していると答えた人の割合(30%)
- ・人権講座年間実施回数(3回)
- ・公共施設新設時のユニバーサルデザイン導入率(100%)

ほかに
「わたしができること」
はないっチカ?



基本戦略 13 骨太な行政基盤を構築する

めざすまちの姿

安定した財政基盤と庁内横断的な体制の下、計画通りに事業が実施され、町民視点の利用しやすい窓口サービスと誰にでも届き伝わる広報が提供されている

わたしたちができること

- ・ 個人で、または町と連携し、小値賀の情報を発信する

施策35 行財政改革の推進

主な取組 機構改革の実施/行政事務の効率化及び経常経費の削減/伝わる広報の実施

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 行政運営に対する満足度(60%)
- ・ 情報発信媒体の数(7個)

基本戦略 14 職員が能力を発揮しやすい組織体制を整える

めざすまちの姿

職員一人ひとりが町民と向き合う時間を確保でき、生き生きとした働きがいのある職場環境となっている

わたしたちができること

- ・ 行政の各種会議等、様々な地域課題解決の取り組みに参加する

施策36 職員の確保と育成

主な取組 適正な定員管理/職員の人材育成/職員研修/人事評価及び結果の活用

施策37 業務環境の変革

主な取組 業務効率化の取り組み

施策38 職場環境の変革

主な取組 働き方改革の推進/挑戦しやすい組織風土の形成

● 成果指標(令和10年度目標値)

- ・ 職員数の確保(93名)
- ・ 電子決裁システムの導入(令和7年度導入)
- ・ 有給休暇年間平均取得日数(10日)

基本戦略 15 公共空間の豊かな活用を図る

めざすまちの姿

人口規模と町民ニーズ及び財政負担のバランスの取れた施設を適切に管理し、事故なく安全に利用されている

わたしたちができること

- ・ 公共施設の在り方の検討に「自分事」として参加する
- ・ 道路や公園の危険個所を町の公式LINE等を通じて役場に連絡する

施策39 公共施設の適正管理

主な取組 公共施設の老朽化調査/公共施設等総合管理計画・個別施設計画の見直し

● 成果指標(令和10年度目標値)

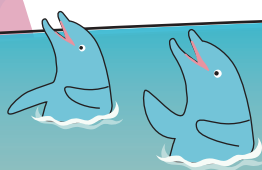
- ・ 実質公債費比率(10.0%未満)

メモ



用語集

No.	用語	解説
1	アントレプレナーシップ教育	アントレプレナーシップとは、ゼロから事業を起こそうとする精神を意味し、起業家・経営者など外部講師を招いての講演等を通じ、急速な時代の変化に対応できる変化やリスクを恐れない力を身に付けます。
2	ジェンダー	生物学的な性とは違い、男性と女性の役割の違いなど社会的・文化的につくられている性別のことです。
3	シティプロモーション	地域の魅力や価値を内外にアピールし、地域の活性化を図る取り組みのことです。
4	デマンド方式	あらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を周るのではなく、電話予約など利用者の希望に応じて運行する方式のことです。
5	ユニバーサルデザイン	年齢や性別、文化の違い、障がいの有無によらず、誰でもわかりやすく、使いやすい設計のことです。
6	SDGs (エス・ディー・ジーズ)	Sustainable Development Goals(サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の略で、日本語では「持続可能な開発目標」と呼ばれます。 2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットからなる国際目標です。
7	DX (ディー・エックス)	「Digital Transformation(デジタル・トランスフォーメーション)」の略で、データとデジタル技術を活用し、生活や経済、社会全体をより良く変革していくことです。



なにか考えや想いが
うかんできたハナ?

総合計画へのご意見や
取り組みの中で考えたことなど
自由に書きこんでっチカ!

